

業 績 目 録（令和 5 年）

大学院科目名：精神機能病態学

(A-a) 英文著書

なし

(A-b) 和文著書

- 1 加藤佑佳, 成本 迅. 第 11 章 認知症高齢者の意思決定支援. 心理学で支える認知症の理論と臨床実践. 大庭 輝, 佐藤 眞一 編. 誠信書房, 東京 : pp205-219, 2023.
- 2 大矢 希, 松井佑樹 (翻訳). 第 1 章 心理的応急処置 (PFA) 定義と歴史. サイコロジカル・ファーストエイド: ジョンズホプキンス・ガイド. 金剛出版, 東京 : pp45378, 2023.
- 3 藤田雄. 第 3 章 認知症への心理学的介入. 心理学で支える認知症の理論と臨床実践. 大庭 輝, 佐藤 眞一 編. 誠信書房, 東京 : pp68-96, 2023.
- 4 樋山雅美, 成本 迅. 高齢者の意思決定. 神経認知障害群. 池田 学 編. 中山書店, 東京 : pp421-424, 2023.

(B-a) 英文総説

なし

(B-b) 和文総説

- 1 富永敏行. 解離性（転換性）障害. 今日の治療指針 2023 : 1050-1051, 2023.
- 2 富永敏行. ChatGPT と心身医学の未来への期待. 心身医学 63(5) : 407-408, 2023.
- 3 富永敏行, 柴田政彦, 清水栄司, 岩佐和典, 上野博司. 慢性疼痛を含む身体症状症に対する認知行動療法と身体的治療とのコンビネーションについて. 認知療法研究 16(1) : 20-29, 2023.
- 4 前田初代, 田沼和紀, 渡邊文之, 富永敏行, 長井麻希江, 川瀬英理, 菊地俊暁. 薬剤師がチーム医療で認知行動療法的アプローチを応用する期待と留意点 : 意思決定支援のツールとして. 認知療法研究 16(2) : 127-136, 2023.
- 5 中前 貴, 垂水みなと. 不妊に悩む患者へのメンタルヘルス支援. 京府

- 医大誌 132(10):667-676, 2023.
- 6 阿部能成. とらわれとこだわりの神経生物学的メカニズムとは. 精神科治療 38(2):143-148, 2023.
 - 7 渡辺杏里. 強迫症のニューロモデレーション. 精神科 Resident 4(1):43-45, 2023.
 - 8 大矢 希. RAPID PFA によるメンタルヘルス問題への対応. 精神医 65(3):355-361, 2023.
 - 9 今井 鮎, 松岡照之, 成本 迅. 認知症と攻撃性. 臨精医 52(6):619-625, 2023.
 - 10 樋山雅美, 成本 迅. フィナンシャル・ジェロントロジー:精神医学からのアプローチ. 老年精医誌 34(3):213-219, 2023.
 - 11 樋山雅美, 成本 迅. 認知症のある人と家族への診断後の心理的支援と意思決定支援. 認知症ケア
 - 12 ジャーナル 16(2):97-103, 2023.
 - 13 樋山雅美, 成本 迅. 意思決定能力ーあり／なしから「サポートするもの」へ. 緩和ケア 33(5):384-388, 2023.
 - 14 樋山雅美, 成本 迅. 高齢者の精神疾患と金融. 老年精医誌 60(3):237-240, 2023.
 - 15 樋山雅美, 成本 迅. 認知症高齢者の権利擁護と意思決定支援. 精神科治療 38(10):1155-1159, 2023.
 - 16 名越泰秀, 富永敏行, 酒井美枝, 舘野 歩. 身体症状症の治療戦略-難治例へのテーラーメイド治療-Therapeutic Strategies for Somatic Symptom Disorders: Tailored Interventions in Intractable Cases. 精神神経誌 125(12):1010-1022, 2023.
 - 17 阿部能成. 【脳画像所見を日常臨床に活かすには】強迫症と脳画像解析. 精神科 43(3):331-338, 2023
 - 18 阿部能成. 【強迫症～レジデントが知っておきたい診断や治療のコツ～】強迫症の生物学的基盤. 精神科 Resident 4(1):22-24, 2023.
 - 19 大矢 希. 【向精神薬はどこから使う?どう使う?入院患者の精神症状】不安へのアプローチ 不安の評価と鑑別、治療方針. 月刊薬事 65(15):3054-3058. 2023.
 - 20 成本 迅. 認知症フレンドリー社会の創成に向けた多様なイニシアチブの活動(実践報告 12) 認知症の人への意思決定支援に関する普及啓発活動: 一般社団法人日本意思決定支援推進機構の取組み. 老年精神医学雑誌 34(2):173-177. 2023.

(C-a) 英文原著

- 1 Matsuoka T, Imai A, Narumoto J. Neuroimaging of mild behavioral impairment: A systematic review. PCN Rep 2(1): e81, 2023. (IFなし)
- 2 Matsuoka T, Narumoto J, Morii-Kitani F, Niwa F, Mizuno T, Abe M, Takano H, Wakasugi N, Shima A, Sawamoto N, Ito H, Toda W, Hanakawa T; Parkinson's and Alzheimer's disease Dimensional Neuroimaging Initiative. Contribution of amyloid and putative Lewy body pathologies in neuropsychiatric symptoms. Int J Geriatr Psychiatry 38(9): e5993, 2023. (IF=3.6)
- 3 Iida N, Ono J, Mizuhara Y, Narumoto J. The subjective assessment of work and social adjustment impairments and associated psychopathologies in Japanese adult female patients with anorexia nervosa. PCN Rep 2(4), e151, 2023. (IFなし)
- 4 Matsumoto Y, Ayani N, Oya N, Kitaoka R, Watanabe A, Yoshii H, Kitaura Y, Inoue S, Narumoto J. Frequency and predictors of perioperative psychiatric symptom worsening in patients with schizophrenia spectrum disorders. Gen Hosp Psychiatry 87, 148-150, 2023. (IF=4.1)
- 5 Imai A, Matsuoka T, Narumoto J. Emotional dysregulation in mild behavioral impairment is associated with reduced cortical thickness in the right supramarginal gyrus. J Alzheimers Dis 93(2), 521-532, 2023. (IF=3.4)
- 6 Sun W, Matsuoka T, Imai A, Narumoto J. Relationship between eating problems and the risk of dementia: A retrospective study. Psychogeriatrics 23(6): 1043-1050, 2023. (IF=1.7)
- 7 Kishimoto T, Kinoshita S, Kitazawa M, Hishimoto A, Asami T, Suda A, Bun S, Kikuchi T, Sado M, Takamiya A, Mimura M, Sato Y, Takemura R, Nagashima K, Nakamae T, Abe Y, Kanazawa T, Kawabata Y, Tomita H, Abe K, Hongo S, Kimura H, Sato A, Kida H, Sakuma K, Funayama M, Sugiyama N, Hino K, Amagai T, Takamiya M, Kodama H, Goto K, Fujiwara S, Kaiya H, Nagao K; J - PROTECT collaborators. Live two-way video versus face-to-face treatment for depression, anxiety, and obsessive-compulsive disorder: A 24-week randomized controlled trial. Psychiatry Clin Neurosci 78(4): 220-228, 2023. (IF=5.0)

- 8 Kurisu K, Nohara N, Inada S, Otani M, Noguchi H, Endo Y, Sato Y, Fukudo S, Nakazato M, Yamauchi T, Harada T, Inoue K, Hata T, Takakura S, Sudo N, Iida N, Mizuhara Y, Wada Y, Ando T, Yoshiuchi K. Economic costs for outpatient treatment of eating disorders in Japan. *J Eat Disord* 11(1): 136, 2023. (IF=3.5)
- 9 Kinoshita S, Kitazawa M, Abe A, Suda A, Nakamae T, Kanazawa T, Tomita H, Hishimoto A, Kishimoto T. Psychiatrists' Perspectives on Advantages, Disadvantages and Challenging for Promotion Related to Telemedicine: Japan's Clinical Experience During COVID-19 Pandemic. *J Technol Behave Sci* 9:532-541, 2023. (IFなし)
- 10 O'Brien WB, Abe Y, Alonso P, Anticevic A, Backhausen LL, Balachander S, Bargallo N, Batistuzzo MC, Benedetti F, Bertolin Triquell S, Brem S, Calesella F, Couto B, Denys DAJP, Echevarria MAN, Eng GK, Ferreira S, Feusner JD, Grazioplene RG, Gruner P, Guo JY, Hagen K, Hansen B, Hirano Y, Hoexter MQ, Jahanshad N, Jaspers-Fayer F, Kasprzak S, Kim M, Koch K, Bin Kwak Y, Kwon JS, Lazaro L, Li CR, Lochner C, Marsh R, Martínez-Zalacain I, Menchon JM, Moreira PS, Morgado P, Nakagawa A, Nakao T, Narayanaswamy JC, Nurmi EL, Zorrilla JCP, Piacentini J, Picó-Pérez M, Piras F, Piras F, Pittenger C, Reddy JYC, Rodriguez-Manrique D, Sakai Y, Shimizu E, Shivakumar V, Simpson BH, Soriano-Mas C, Sousa N, Spalletta G, Stern ER, Evelyn Stewart S, Szeszko PR, Tang J, Thomopoulos SI, Thorsen AL, Yoshida T, Tomiyama H, Vai B, Veer IM, Venkatasubramanian G, Vetter NC, Vriend C, Walitza S, Waller L, Wang Z, Watanabe A, Wolff N, Yun JY, Zhao Q, van Leeuwen WA, van Marle HJF, van de Mortel LA, van der Straten A, van der Werf YD; ENIGMA-OCD Working Group; Thompson PM, Stein DJ, van den Heuvel OA, van Wingen GA. The functional connectome in obsessive-compulsive disorder: resting-state mega-analysis and machine learning classification for the ENIGMA-OCD consortium. *Mol Psychiatry* 28: 4307-4319, 2023. (IF=9.6)

(C-b) 和文原著

- 1 松岡照之, 西村伊三男, 川瀬美奈子, 増本敬子, 林田 学, 今井 鮎, 成本 迅. 認知症初期集中支援チームが介入したことにより精神科外

- 来受診につながった2症例. 老年精医誌 34(3) : 261-266, 2023.
- 2 樋山雅美, 小野田梨花, 加藤佑佳, 香川 香, 成本 迅. 成人期のADHDと若年性認知症の鑑別を要した1症例: 鑑別に有用なアセスメントの検討. 関西大学心理臨床センター紀要 14 : 1-9, 2023.
 - 3 垂水みなと, 中前 貴, 飯田直子, 平松伶彩, 森 泰輔, 成本 迅. 産婦人科不妊治療施設における里親・特別養子縁組制度に関する情報提供についての実態調査. 日本生殖心理学会誌 9(2) : 6-13, 2023.
 - 4 井上 建, 小坂浩隆, 岡崎玲子, 飯田直子, 磯部昌憲, 稲田修士, 岡田あゆみ, 岡本百合, 香山雪彦, 河合啓介, 河野次郎, 菊地裕絵, 木村 大, 越野由紀, 小林聡幸, 清水真理子, 庄司 保子, 高倉 修, 高宮静男, 竹林淳和, 林田麻衣子, 樋口文宏, 細木瑞穂, 水田桂子, 米良貴嗣, 山内常生, 山崎允宏, 和田良久, 北島 翼, 大谷良子, 永田利彦, 作田亮一. COVID-19 流行下における神経性やせ症と回避・制限性食物摂取症の新規外来患者および入院患者数の全国調査. 日本摂食障害学会雑誌 3(1) : 3-12, 2023.
 - 5 市川徳子, 那須ダグバ潤子, 松本佳大. 保育所における情報提供に関する研究 - 外国出身保護者とその家族へのインタビューより. 保育と保健 29 (1) : 17-24, 2023.

(D) 学会発表等

I) 招待講演、特別講演、教育講演等

- 1 成本 迅. 金融老年学からみた認知症患者の資産管理と金融機関の取り組み. 第65回日本老年医学会, 認知症診療の実践セミナー. 2023年6月18日, 横浜.
- 2 大矢 希. 向精神薬の実際. よくわかるシリーズ15. 第36回日本サイコオンコロジー学会総会. 2023年10月7日, 奈良.
- 3 大矢 希. 教育講演8 Pro Con 企画 ケミカルコーピングについて考える. 第36回日本サイコオンコロジー学会総会. 2023年10月7日, 奈良.
- 4 成本 迅. 教育講演9 遺言能力評価について. 第38回日本老年精神医学会秋季大会. 2023年10月14日, 東京.
- 5 成本 迅. 学術教育講演11 高齢者の消費者トラブルと認知機能障害. 第42回日本認知症学会学術集会. 2023年11月26日, 奈良.

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 富永敏行. 特別企画シンポジウム 総合診療と精神科/心療内科の連携 ~京都府立医科大学の場合~. 第66回日本心身医学会近畿地方会. 2023

年1月15日、大阪・ハイブリッド開催。

- 2 富永敏行. 厚労省慢性疼痛モデル事業近畿地区 パネルディスカッション・アドバイザー. 精神科連携セミナー. 2023年2月18日, 大阪.
- 3 阿部能成. 入院治療の意義; 多角的病態病理の把握とその応用. 第41回日本社会精神医学会. 2023年3月17日, 神戸.
- 4 大矢 希. リエゾン(連携)の意義を 精神医学の立場から考察する. シンポジウム 基礎・臨床・社会医学の連携と融合～脳領域を例として～. 第31回日本医学会総会. 2023年4月22日, 東京.
- 5 阿部能成. 強迫症の初期対応; 診断と治療. 第15回日本不安症学会学術大会. 2023年5月20日, 東京.
- 6 松岡照之. 認知症の初期症状としての神経精神症状; Mild Behavioral Impairment について. 第38回日本老年精神医学会春季大会. 2023年6月17日, 神奈川.
- 7 阿部能成. 強迫症の新規治療; グルタミン酸系薬剤. 第119回日本精神神経学会学術総会. 2023年6月24日, 横浜.
- 8 大矢 希. 大学病院における精神科初期研修の実際と課題. シンポジウム 精神科初期研修グレードアップ! 第119回日本精神神経学会学術総会. 2023年6月24日, 横浜.
- 9 松岡照之. 認知症の初期症状としての Mild Behavioral Impairment について. 第42回日本精神科診断学会. 2023年9月23日, 富山.
- 10 飯田直子. 神経発達症併発の治療編 1 シンポジウム. 第26回日本摂食障害学会学術集会. 2023年10月23日, 東京.
- 11 池上明希. SEAN 患者の支援ニーズ. シンポジウム. 第26回日本摂食障害学会学術集会. 2023年10月23日, 東京.
- 12 成木 迅. 遺言能力の有無が争点となった遺言無効確認請求訴訟判例の分析. 第42回日本認知症学会. 2023年11月25日, 奈良.
- 13 樋山雅美. 遺言能力スクリーニング検査の実装. 第42回日本認知症学会. 2023年11月25日, 奈良.

III) 国際学会における一般発表

- 1 Tominaga T, Nagoshi Y, Iwahara A, Narumoto J. The Validation of the Japanese version of the Somatic Symptom Disorder-B Criteria Scale (J-SSD-12) under psychiatric outpatient settings in Japan: A progress report. 10th World Congress of Cognitive and Behavioral Therapies. 2023 June 1-4; Seoul, Korea.
- 2 Tominaga T, Ueno D, Oya N, Maeda S, Narumoto J. The progress report on the study of the efficacy of Internet-Based Small Group Cognitive Behavioral Therapy (i-SGCBT) in patients with Somatic

Symptoms and Related Disorders. 10th World Congress of Cognitive and Behavioral Therapies. 2023 June 1-4, Seoul, Korea.

E 研究助成（競争的研究助成金）

総額 2207万円

公的助成

代表（総額）・小計730万円

- 1 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和元年度～令和4年度
身体症状症および関連症群に対するグループ認知行動療法の効果の実証
助成金額 0万円
- 2 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和2年度～令和5年度
バーチャルリアリティー技術を用いた契約場面における意思決定能力
評価法の開発 助成金額 70万円
- 3 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和2年度～令和5年度
精神科入院環境における暴力等の粗暴行為および違反行為に関する臨床
疫学的研究 助成金額 30万円
- 4 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 令和3年度～令和7年度
認知症初期集中支援チームを利用した軽度行動障害への多職種連携早期
介入モデルの構築 助成金額 70万円
- 5 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和3年度～令和7年度
電気けいれん療法がもたらす認知的柔軟性：脳画像変化からメカニズムを
解明する 助成金額 60万円
- 6 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和4年度～令和7年度
内受容感覚の予測的处理に基づいた高齢者の遠隔型詐欺被害防止
プログラムの開発 助成金額 100万円
- 7 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 令和3年度～令和8年度
身体症状症関連群に遠隔・集団認知行動療法は効くか？-VRを用いた探求
- 助成金額 150万円
- 8 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C） 令和5年度～令和7年度
精神療法を取り入れた不妊治療患者に対する家族形成支援プログラムの
開発 助成金額 140万円
- 9 文部科学省科学研究費補助金若手研究 令和5年度～令和9年度
発達障害合併強迫症患者の治療法開発
助成金額 110万円

分担・小計13万円

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（A） 令和3年度～令和5年度
ウェルビーイングによる認知機能リスクの改善とその脳内機序の解明

助成金額 3 万円

- 2 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) 令和 2 年度～令和 5 年度
認知症と介護者の睡眠障害に関する特性分析と新たな介入方法の開発
・検証 助成金額 10 万円

財団等からの助成

分担・小計 1464 万円

- 1 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 戦略的イノベーション
創造プログラム (SIP) 令和 5 年度～令和 9 年度
高齢者が生涯にわたって自立的に経済活動ができる包摂的な社会経済
システム構築 助成金額 1464 万円